

2012年7月13日
イオン株式会社
三菱食品株式会社
三菱商事株式会社

マックスバリュ3社が中国で展開するスーパーマーケット事業へ 三菱食品・三菱商事が参画

イオン株式会社（以下、イオン）と三菱食品株式会社（以下、三菱食品）及び三菱商事株式会社（以下、三菱商事）は、イオン子会社の3社（マックスバリュ東海株式会社、マックスバリュ西日本株式会社、マックスバリュ中部株式会社）がそれぞれ中国に設立する新会社に、三菱食品と三菱商事が参画することに本日基本合意しました。

急速な経済成長が進む中国では、都市部を中心に消費者のライフスタイルが大きく変化しつつあり、ワンストップで「安全・安心」な食料品が購入できる利便性の高いスーパーマーケットへのニーズが年々高まっています。このような環境変化をグループの成長の原動力とするべく、イオンは中国におけるスーパーマーケット事業（以下、SM事業）の本格的な展開に向けた準備を進めてきました。

イオングループのSM事業を担うマックスバリュ3社が中国各地域で設立する新会社（※）に、三菱食品と三菱商事が中国での必要な認可を得て出資することを検討してまいります。これにより、イオングループと三菱食品及び三菱商事が密接に連携してSM事業を中国で展開していく体制を構築していきます。

※ マックスバリュ東海株式会社－広州市、マックスバリュ西日本株式会社－青島市、マックスバリュ中部株式会社－蘇州市

イオンと三菱商事は、2008年12月に締結した包括業務提携契約のもと、様々な事業領域で協業を進めてまいりました。中国で初めての合弁事業となる今回の基本合意は、イオングループがこれまで培ってきた小売業のノウハウ、三菱食品のサプライチェーンマネジメント構築力や調達・物流の機能を融合させることにより、中国におけるSM事業を成功させたいという思いが合致したことによるものです。

今後、イオングループと三菱商事グループは、強固なパートナーシップのもと、成長市場である中国の食品マーケットにおいて、SM事業の展開を加速してまいります。

[参考]

1. 各社の中国地域戦略

(1)イオン

2011年を起点とする3カ年のイオングループ中期経営計画（2011年度～2013年度）において、成長著しい中国やアセアン地域においてグループ一体となった成長を目指す「アジアシフト」をグループ共通戦略のひとつとして掲げております。中国においては、総合スーパーを中核としたショッピングセンターの出店に加え、スーパーマーケット業態や総合金融事業、専門店業態などグループの総力を挙げた複合的な事業展開を進めています。

(2)三菱食品

本年5月に発表した「中期経営計画2015」（2012年度～2015年度）において、新たな領域への事業拡大を成長戦略として掲げています。新たな領域の一つが、お取引先とのタイアップによる中国やアセアン地域への海外進出です。三菱食品の持つ原材料調達から消費者へ到達するまでのすべての中間流通機能を提供し、海外進出を目指すお取引先企業とともに事業を成功に導くことを目指しています。

(3)三菱商事

2010年を起点とする3カ年の「中期経営計画2012」（2010年度～2012年度）において、収益基盤の強化・充実と次なる収益の柱の育成に向けて、中国・インド・ブラジルを全社戦略地域に設定し、成長著しい新興国の内需の取り込みを推進しています。とりわけ中国は、内需の中長期的な成長が見込まれ、集中的に経営資源を投入することで規模感のあるビジネスを創造することを目指しています。

2. 今回設立する中国新会社3社の概要（名称は仮称）

(1)イオンマックスバリュ（広州）商業有限公司 [永旺美思佰樂（広州）商業有限公司]

- ①所在地 : 中国・広東省広州市
- ②代表者 : 董事総経理 安倍 悟
- ③設立予定 : 2012年中（予定）
- ④資本金 : 80百万元（約10億円）

(2)イオンマックスバリュ（青島）商業有限公司 [永旺美思佰樂（青島）商業有限公司]

- ①所在地 : 中国・山東省青島市
- ②代表者 : 董事長総経理 下澤 茂樹
- ③設立予定 : 2012年度中（予定）
- ④資本金 : 80百万元（約10億円）

(3)イオンマックスバリュ（蘇州）商業有限公司 [永旺美思佰樂（蘇州）商業有限公司]

- ①所在地 : 中国・江蘇省蘇州市
- ②代表者 : 董事長 梅本 敏
- ③設立予定 : 2013年春頃（予定）
- ④資本金 : 80百万元（約10億円）